1 新たな制服導入の発案に係る背景・経緯

本校の制服は、昭和56年4月の統合開校以来、詰禁学生服とセーラー服を標準服とし、長い歴史と伝統を有する。しかし、「セーラー服は気温に応じて簡単に脱着できず、寒暖の差への対応が難しい。」「洗濯しにくく感染症防止対応が難しい。」「男女別に標準服が定められているため、性差を問わず着られる制服があるとよい。」等の意見も、生徒や保護者等から寄せられてきた。

令和4年8月に保護者を対象とした調査を実施し、「改善が必要か」と尋ねたところ、回答した保護者の81.0%から改善が必要との回答を得た。

全国的にみても、ジェンダーレス(性別による区別のない)で誰もが心地よく着られる制服を導入する学校が増えている。SDGs の潮流や性の多様性の観点等も充分考慮し、本校の制服の将来像を検討することが喫緊の課題となっている。

そこで、令和4年 11 月に新たな制服導入について検討する委員会を組織し、生徒や保護者、 地域住民等とともに議論を深めていくこととした。

2 検討工程(案)

期日	会議内容		検討事項
R4.9.8	学校運営協議会		・意見聴取
R4.9.28	PTA総務委員会		・新制服導入の発案
L			
		N /	・工程表の検討
R4.12.1	準備委員会(第1回)	$ \vee $	・検討委員会の委員の人選
14.12.1	平隔女员五(外1四)		・小学校保護者への調査項目検討
		進	77. 子仪休暖有"07,啊且没有快的
r	т		
R4.12.2~			・保護者、地域へ経過周知
R5.2.28		委	・小学校保護者へ調査実施
		員	
		会	•調査結果報告
	Mr. His et El A (fata)		・メーカー選定方法の検討
R5.3.1	準備委員会(第2回)	\setminus $/$	・メーカーへ協力依頼(5社程度)
		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	・検討委員会委員の委嘱依頼
		┧╲╱┟	
R5.5.	検討委員会(第1回)	┨	・制服イメージの検討
R5.6.	検討委員会(第2回)	検	・メーカーへの説明会(5社程度)
K9.0.	快的安县云(第2回)	┪割け	・メーカーによるプレゼンテーション
DE 0	 	委	
R5.8.	検討委員会(第3回)	1	・メーカーの選考、決定
		↓ 員 │	•選定委員会の委員の人選
		」 会	
R5.9.		l	・保護者・地域へ経過周知
	選定委員会(開催期日未定)	N /	※メーカー同席
		$ \vee $	・素材の選定
			デザインの選定
R5.10.∼			・付属品等の検討
			生徒全員へファッションショー(投票)
R6.6.			・仕様書、契約書の作成
110.0.		選	・制服取り扱い販売許可等の確認
			・販売価格の確認
		定	・採寸、納品方法の検討
	1	委	1 大 八 八 1 八 1 八 1 八 1 八 1 1
	·	員	
R6.6	<u> </u>	会	・新制服決定の周知(保護者・地域)
R6.7.∼			·採寸(町衣料品組合)
R6.11.		ĹĹ	- 7本 リ (四) 44个7日17日 (日)
[令和7年度入学式
R7.4.			(新制服導入)
L	J		「人がいれいは、 (水) 「大子子)